

明日の健康を応援するメディカル情報マガジン
<http://sankoukai.net>

TAKE
FREE

ご自由にお持ち
帰りください

あしたば

2009
August

No.20

ASHITABA
Medical Information Magazine



特集1 宮崎病院 放射線科・涌島 宏

「放射線科」開設にあたって

特集2 公立新小浜病院 整形外科・高橋 正樹

整形外科について

特集3 宮崎病院 脳神経外科・森 勝春

ガンマナイフ時代の脳転移治療

シリーズ【医療】 宮崎病院 腎臓内科(人工透析)・宮崎 雅也

脱水症を予防して夏を乗り切ろう

特定医療法人
三 佼 会

【特集1】

「放射線科」開設にあたって

宮崎病院 放射線科 涌島宏

「放射線科」は安全で、より精度の高い検査の実現に努め、
的確な診断と治療をサポートします。

平成21年4月より宮崎病院に「放射線科」が新設となり、勤務させていただくことになりました。「放射線科」といっても患者の皆様にはあまり馴染みがないかもしれません。

CR、CT、MRIといった各種の画像診断機器を用いて検査を行い、主治医の先生方がその画像情報から正確に異常の有無や病気の診断をするお手伝いをしています。また、これらの検査が安全に行われ、そして患者様の負担が少なくなるように努めています。

CRとは以前のレントゲン写真に相当するもの、CTはX線を用いた断層撮影、MRIは磁力を用いた断層撮影です。以前は現像したX線フィルムを蛍光灯にかざして病気の診断をしていたのですが、最近の科学技術の進歩により、これらの検査は大きく様変わりしました。大部分の検査画像は高速でコンピュータ処理されるようになり、そのため診断能力も格段に向上したのですが、検査は多彩なものとなり、情報そのものも複雑化してきており、これらの検査が正しく行われるよう機器を管理したり、画像情報を正確に把握し、各主治医に迅速に伝える仕事を専門にする者も必要とされるようになってきました。当院ではこれらの画像とその報告が、院内すべての電子カルテ端末で参照できるようになっています。また全医師と関係スタッフによる画像検討会が毎朝行われており、前日の

画像情報の共有化と診断の検討が徹底されています。その他病院全体で診断の向上に努めています。

放射線科医が患者の皆様と直接お会いすることは少ないかもしれませんが、診療放射線技師や臨床検査技師その他のスタッフとともに、的確な診断と治療に結びつくような、安全で、より精度の高い検査の実現に向けて全力で努めます。病院のどこかに、主治医以外にも検査画像を真剣に診ている者がいることを、少しでも心にとめていただければなら大変うれしいです。

最後になりますが、簡単に自己紹介を致します。私はオホーツク海に面した湧別という町の生まれです。毎年、流水が着岸する小さな港町です。弘前大学医学部を卒業後、北海道大学医学部附属病院、帯広厚生病院、旭川厚生病院、市立函館病院などおもに北海道で勤務してまいりました。北国生まれの北国育ちなのですが、どうも子供の頃から寒さが苦手です。いつか雪の積もらない南の国へ移住したいと夢見ておりました。今回、思い切って九州に移住し、縁あって当院に勤務させていただくことになりました。少しでもこの地域の力になれるよう努めます。どうぞよろしくお願致します。



【特集2】

整形外科について

公立新小浜病院
整形外科
高橋 正樹

整形外科は患者様が日常生活を快適かつ活動的に過ごすお手伝いをしています。

昨年11月から、新小浜病院の整形外科に着任させていただきました高橋正樹です。

皆さんも、腰やひざなどが痛くなったことがあるかもしれません。また、骨を折ったことや「ねんざ」をしたことがあるかもしれません。

体のどこかが痛くなったときや、骨折や脱臼が疑わしいときに、いまだにまず接骨院（整骨院）にかかる人があり、接骨院と整形外科の区別がつかない人も多くおられます。（接骨院で治療を行うのは柔道整復師で、整形外科で治療を行うのは整形外科医です。）

接骨院と整形外科のまず第一の決定的な違いは、診断する方法です。接骨院では主に外からさわる（触診）だけで中の状態を判断しますが、整形外科では、触診だけでなく、レ



ントゲン、血液検査、病理検査、透視装置、CT、MRI、超音波診断装置、筋電図計などさまざまな検査方法を総合的に駆使して怪我や骨折、病気や感染などの状態を診断することにあります。

そして第2に治療法は、のみ薬、シップ、温熱治療やギプスのみならず、必要により手術もします。

病院の敷居が高く、病院の整形外科を受診しない人も多いと思われませんが、整形外科という診療科目の認知度が低く、整形外科がどういうことを行うところであるか、ピンとこない人も多いと思います。

整形外科がどういふ科であるかを、あえて一言でいうとすると、おもに身体の姿勢や運動の關係する部位である四肢（手、足）、脊椎（せぼね）などの筋骨格系（からだの運動や姿勢に関わる器官）のけがや病気を扱う科ということになります。

以前は、美容外科も整形外科という呼称を使っていたので、今でも整形外科は美容外科とよく混同され、整形外科医だと言つと、「私の顔を治してくれますか」と、相談される事がありました。美容外科は、整形外科と違い、主として形成外科医が行なう顔面の醜形を改善する診療科です。

整形外科は、からだの運動器の病気や外傷（ケガ）を主として取り扱う診療科目です。運動器としての、骨・関節・筋肉・靭帯・腱・脊髄・神経の病気、外傷（ケガ）による損傷、手足などの先天性疾患（生まれつきの

奇形など）を治療します。

そして整形外科では、単に病気やケガを治すだけでなく、運動機能をできるだけ元に戻させることを目的とします。これも整形外科の大きな役割です。

一般外科では、虫垂炎の手術のように、患部を切除することが治療の基本となりますが、整形外科では、患部を修復再建し、損なわれた機能を回復させることが治療の基本となります。

たとえば、骨折や脱臼で骨がずれていれば修復し（整形外科の呼称の由来でもある、まさしく形を整え）、靭帯や腱、神経などが切れた場合には縫合するなどして修復し、修復できない場合は、他の方法で機能を再建したりします。

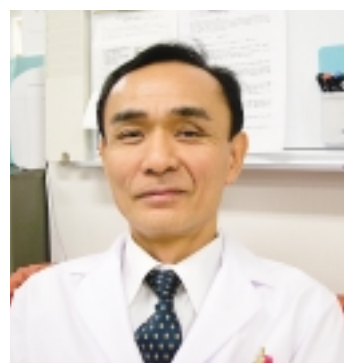
整形外科は、名称に「外科」を含んでいますが、実際は、大部分の疾患は、手術以外の治療法（保存的治療）で治療しており必ずしも外科の名称は適当ではありません。

また、運動機能の障害だけでなく、神経痛・リウマチなどのような痛みを主とする疾患の治療を行なうのも整形外科の重要な仕事です。

近隣の雲仙市や南島原市をはじめとする島原半島地域は、高齢の方の比率が高く、高齢の方の転倒による股関節や背骨、手首などの骨折が多くみられます。また、高齢の方は膝や腰などに痛みのある方が多く、治療を受けたいと思われている方も多いでしょう。そのような地域のご要望に根ざした治療を行っていきたくと考えています。

公立新小浜病院にはレントゲン、CT、MRI、超音波診断装置（エコー）をはじめ優れた装置がそろっており、皆様の整形外科的なけがや病気の治療に十分ご対応できると

思っております。



整形外科で扱う主用な症状は（主訴）は、痛み（腰痛、頸部痛、肩こり、膝の痛みなど）、しびれなどの知覚障害、四肢の変形、腫れ、運動障害、姿勢異常、歩行障害などです。

最近、骨粗鬆症などの老年病に対しては、症状が出るまでに予防的な治療を始めることも多くなっています。また、スポーツを愛好する人が増えるにつれ、スポーツに伴う障害の予防や治療に整形外科医が関わる機会も増えてきています。映画やテレビで医療現場をあつかったドラマがよく製作されていますが、整形外科医はたいてい脇役で、整形外科医が主人公として登場するドラマをほとんど見かけません。整形外科医は人の生き死にに関わるような病気を扱うことは少ないので、ドラマになりにくいのでしょう。しかし、この一般病院でも、整形外科外来を受診する患者数は内科に次いで2番目に多く、整形外科は、それだけみなさんの身近な診療科であるということなのです。

ひとの命を救うことは、医療の最も大事な目標ですが、単に命を長らえることだけが医療の目的ではありません。

整形外科は、身体の活動が快適に行えるようにはかり、みなさんが日常生活を快適かつ活動的に過ごすお手伝いをすることを主な目標にしている診療科です。

ガンマナイフ時代の 脳転移治療

【特集3】

宮崎病院 脳神経外科 森勝春

宮崎病院は県下唯一のガンマナイフ治療施設。
ガンマナイフは、脳転移治療のスタンダード
になりつつあります。

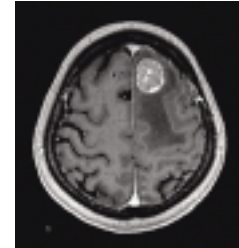


ガンマナイフは開頭手術なしで脳腫瘍や脳血管奇形を治す頭部専用の放射線治療装置です。病変部に大きな線量を正確に一回であてることにより頭の中の病変を制御することを最大の特長としています。宮崎病院では長崎県下唯一のガンマナイフ治療施設として2003年5月治療を開始し、以来現在まで延べ700名以上の方々に治療を行ってきました。このうち多くを転移性脳腫瘍の患者様が占めています。(表1)

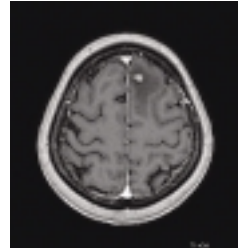
転移性脳腫瘍とは、原発巣(肺など)がありそれが主に血流を介して脳へ流れつき生じたものです。原発巣に局限していた癌が全身の病気になることを意味し、転移性脳腫瘍を生じた段階では進行癌であるといえます。転移性脳腫瘍治療は、全身病変の一部としての脳病変の治療という位置づけになります。限られた症例で手術摘出が行われる程度で、主に全脳照射という脳全体に対して少しずつ放射線をあてる方法で治療が行われてきました。この方法は脳全体に対して照射すること

から、脳の耐えられる線量(耐用線量)による制限があり、副作用の回避のために2週間から1ヶ月をかけて少しずつ照射します。数の多い転移性脳腫瘍が適応となります。これによる転移性脳腫瘍の局所制御率は概ね60%程度といわれています。照射後の放射線酔いによる吐き気や照射範囲の脱毛、皮膚炎、長期的には少数ながら高齢の患者様における認知機能の低下が問題になります。

これに対してガンマナイフは、病変の大きさが3cm迄の病変を対象とし、僅か2泊3日の治療で認知症状の心配もなく治療可能です。自験例の転移性脳腫瘍の200例を調べたところ、局所制御率90%、症状を起こして発見された例では2週間から1ヶ月程度で70%以上の方が改善しています。悪性腫瘍の治療効果としては抜群の成績です。多少個数が多くても患者様の状態に応じて、全脳照射をせずガンマナイフ単独で治療を行うことも可能です。(1cm以下の病変であれば20カ所程度までならば脳への被曝は全脳照射の10分の1程度ですむといわれています。)病変単位での局所治療であることから、初回治療(ガンマナイフ治療、全脳照射、手術)の後、数ヶ月経過して新たな場所に脳転移を来しても、再度ガンマナイフ治療を行うことができます。



大腸癌治療前



大腸癌転移6ヶ月後

一方、大きさが3cmを越える病変においては副作用を避けるために照射線量を下げざるを得ず、その局所制御率は低下します。そのような場合、手術摘出を組み合わせる場合もあります。治療の選択肢が増えたといえるでしょう。

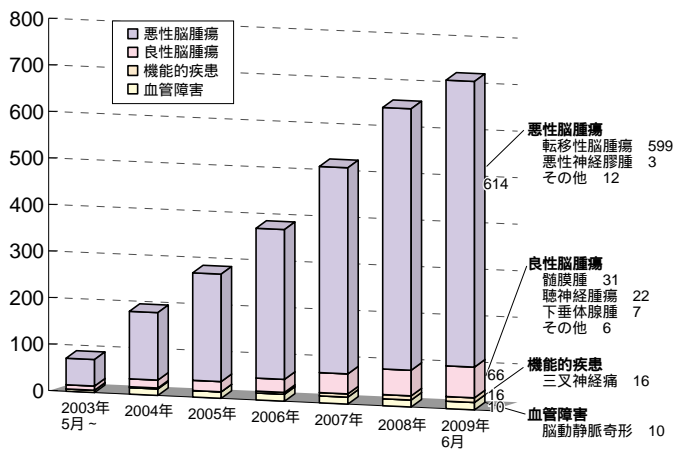
近年の癌化学療法法の進歩はめざましいものがあります。これにともない脳転移を生じた進行癌であっても長期間お元気で過ごす患者さんが増えています。このような患者様において生活の質を保ちつつ、短期間で治療可能なガンマナイフは今後ますますその必要性が増していくものと思われれます。

残念ですが癌が脳に転移しています、しかし大きさが3cm以下ですし、数も少ないのでガンマナイフ治療で脳については問題ないでしょう。その後定期的に検査を行い早期発見すれば脳については心配は要りませんよ。最近ではこのように患者様に説明し治療を行っています。脳転移もその他の疾患同様、早期発見が第一です。癌の診断を受けた際は是非定期的に脳の転移巣の検索を受けることをお勧めします。

三協会 宮崎病院ガンマナイフ治療症例数推移

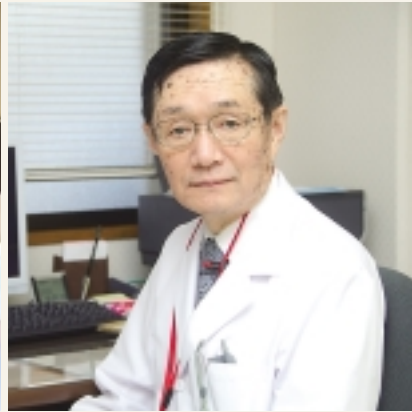
	2003年 5月～	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年 6月まで	計
悪性脳腫瘍	57	88	86	91	121	119	52	614
良性脳腫瘍	9	8	5	6	15	12	11	66
血管障害	0	2	0	2	3	2	1	10
機能的疾患	5	9	0	1	0	0	1	16

三協会 宮崎病院ガンマナイフ治療症例数推移
総数 - 706例 (2009年6月30日現在)



施設のご案内

「こんにちは 老健おばま」です。



公立新小浜病院(旧国立小浜病院)の正面玄関は通りすぎて、右に駐車場の、左サンまぎれば太か建てもんの見ゆつです。その白か建てもんが今回、紹介する、老健おばま」です。

平成17年4月、雲仙・南島原保健組合により公設民営の施設として開設され、しかも日本で最後の老健施設、言い換えれば、最新の老健ということになります。その指定管理者として特定医療法人三校会が運営をまかされています。

施設機能として、入所と通所に分けられます。入所は全て個室で、71名が利用できます。通所デイクエアは1日29名まで利用可能です。施設を利用するには事前に介護保険の認定を受けておく必要があります。

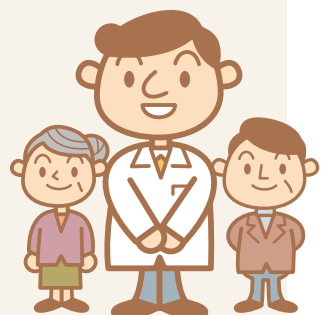
リハビリの見地から、老健おばまは維持期・生活期リハビリの部分の担っています。たとえば脳卒中を起こした当初は急性期医療が必要です。それと急性期リハビリをできるだけ早期に開始します。全身状態がある程度落ち着けば、回復期リハビリ病棟に移って機能回復や日常生活動作の向上できれば自宅復帰をめざしてリハビリをおこないます。疾患によって異なりますが、高次脳機能障害を伴えば180日まで回復期リハビリを受けられます。この時期までは医療保険によってまかなわれます。この期間を過ぎても継続したりリハビリが必要な場合、原則として介護保険の適用となります。生活機能の維持・向上をめざして維持期・生活期リハビリテーションを受けることになり、その機能を担う施設の一つに介護老人保健施設略して老健があります。

明るく家庭的な雰囲気なので、医師、セラピスト、看護師、介護福祉士、栄養士、ケアマネー

ジャー、支援相談員などの専門職が、自分の専門分野を超えて、一人三役の心意気で利用者を支援しています。入所、通所のいずれも、健康チェック、体操、音楽療法、レクリエーション、リハビリなどの日々のプログラムに加えて、桜やツツジの花見、文化祭、運動会、七夕など四季折々の行事が加わって意外に多忙です。

玄関を入るとカウンター越しに事務室、奥に通所部門があります。正面のエレベーターで2階へあがると入所者の居室となります。居室の位置によって窓から見える景色は全く異なります。東側の居室は雲仙岳に面し、雲仙への坂道を往来する観光バスなどを見ることができ、西は公立新小浜病院、南は温泉源からたちのぼる湯けむりや橋湾、北は民家に面し、その庭のアジサイ、つつじ、ピワヤ柿の木、医者いらずとも言われるアロエなどの樹木や花を見ることが出来ます。3階もほぼ同様の構造ですが、リハビリルームがあり、通所者と入所者が共用しています。

高齢者の一人ひとりのニーズを把握し、「今日通所して得ることがあった」、「入所して良かった」と満足していただける施設を目指すとともに、この地域の医療、福祉、保健などの関係機関と連携をとりながら、地域住民の生活支援に努力しています。



宮崎病院
腎臓内科（人工透析）
宮崎 雅也



【第4回】

脱水症を 予防して夏を 乗り切ろう

高温多湿な日本の夏。この蒸し暑さは
とても不快で体調を崩しがちです。
特に脱水症は年齢に関係なく、
注意しなければなりません。
上手に工夫をして夏を乗り切りましょう。



私たち人間の体は60%が水分。

人間の体は赤ちゃんで75%、成人で60%、高齢者で50%が水分で占められており、水分が不足すると体は様々な変調を来たしてしまいます。この水分が不足する状態を「脱水症」と呼びます。

水分は体の中でどのような働きをしているのでしょうか？血液によって栄養分や酸素は、全身の組織に送られ、また、体に不要になった老廃物も、血液によって全身の組織から集められ、尿や汗の形で排泄されます。その血液の80%は水分で、水分にはこの代謝が順調に行えるように調整する役割があります。また、代謝による熱が体にたまるため、汗をかくことで体温を調整しています。汗として水分が皮膚から蒸発する時に、水分は皮膚から熱エネルギーを奪って体を冷やします。体は目に見える汗だけでなく、気づかないうちにも想像以上の汗をかいて体温を調整しているのです。

人間も魚と同じように、 水がないと生きられない。

人間は一日にどれくらいの水分が必要なのでしょう？一日に体から失われる水分量は合計16000〜26000mlといわれて、私たちは毎日これと同じ量の水分を補給しなければなりません。実際には、一日に飲水で4000〜14000mlくらいの水分補給が必要になります。ただし、これは健康な成人が通常の生活を送っている場合です。運動でたくさん汗をかいた場合や、嘔吐下痢で体内の水分を失った場合には、失われる水分量が増えるため必要な水分量は増えます。

とくに高齢者は家族や介護者の手助けが重要。

高齢者では加齢に伴い基礎代謝は低下し、食事や水分の摂取だけでなく体内の水分量が減少します。しかし、脳血管疾患のためのどの渴きに鈍くなり、嚥下能力も低下し水分補給が困難になっている方がいます。とくに心臓疾患や腎臓疾患を持ち合わせている方では、内服薬（利尿剤）のために短期間で脱水症が進行し重症化してしまう場合もあります。一方、身体障害のために尿失禁や夜間頻尿を気にして、水分補給を我慢している方もいます。このため、高齢者は手近に飲み物を置きいつでも飲めるように配慮し、可能な限りよく観察してあげるなど家族や介護者の手助けが重要です。

脱水症状に早く気がつくことが大切。

脱水症は成人よりも子供や高齢者で起こしやすく、体内の水分をわずか5〜10%失うと脱水に伴う様々な症状を来し、

15%以上失うと生命が危険な状態に陥ります。軽度では、「のどが渇く」「尿の回数・量が減り濃くなる」、中等度で「皮膚や口唇・舌が乾燥する」「微熱がある」「便秘になる」、重度で「頭痛」「めまい・立ちくらみ」「血圧が下がり、脈拍が増える」「食欲低下」「倦怠感」「手足がふる（こむらえり）」などの症状が現れます。さらには血液が濃くなって心筋梗塞や脳梗塞を起こす危険性が高まります。脱水症を予防するためには、症状をよく知り早く気がつくことが重要です。

上手な水分補給のコツは…？

水分補給というと簡単なようですが、実際に行う際には案外悩んでしまうものです。上手な水分補給の方法は、①のどの渇きが強くなる前に飲む、②10〜15分の間隔を開けてこまめに飲む、③10度くらいに冷やしたものをゆっくりと飲むなどあります。飲み物は通常水やお茶でかまいませんが、運動でたくさん汗をかいた時や、嘔吐下痢で体内の水分を失った時には、市販のスポーツ飲料が糖分やミネラルを含みより早く吸収されやすいため効果的です。ただ、糖尿病を持ち合わせている方は、カロリー摂取が多くなってしまうややすく注意が必要です。ほかに、アルコール（ビールなど）やカフェイン入りの飲料（コーヒー・紅茶など）は利尿作用が強く、尿に排泄される水分量が多くなるため水分補給には適しません。

体の水分バランスを毎日チェックしよう。

体の水分バランスが取れているかを簡単に知る方法はないのでしょうか？脱水症がないことのほかに、血圧・脈拍測定、体重測定を行うことで、体の水分バランスを知ることができます。体調の良い時の血圧、脈拍、体重を目安にし、体重は1・0kg前後の増減内であれば問題ありません。血圧低下、脈拍増加、体重減少があれば、目安となる体重から減少した分だけ、水分が不足していることとなります。通常、余分な水分は尿として排泄されるため、取りすぎの心配はありません。心臓疾患や腎臓疾患を持ち合わせている方や高齢者では、若年者と比べて水分バランスを取るまでに時間がかかるため、急な水分補給は避け、水分の取りすぎにも注意をしなければなりません。

健康の秘訣は毎日の栄養バランスのよい食事、十分な睡眠適度な運動です。体調が悪くなってから病気を治す苦労をするのではなく、健康なうちに病気にならない苦労をしてみたいかがでしょうか？

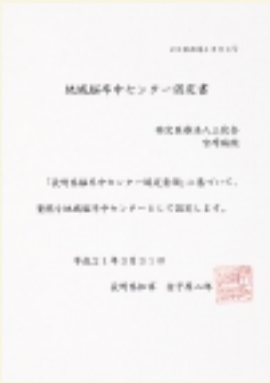
三校会グループでの
最近の主な出来事などを
お伝えします。

宮崎病院および 公立新小浜病院が 「脳卒中センター」に 認定されました。

宮崎病院と公立新小浜病院は、長崎県より脳卒中の専門治療が可能な「地域脳卒中センター」として認定を受けました。

脳卒中は、血管が詰まったり、破れて出血したりして、死亡率が高く、重い障害が残ることも多い病気です。また、発症直後の対応が重要で、専門治療のできる医療機関への患者搬送が必要です。そのために救急隊員や医療関係者のほか、一般の人も搬送先を判断できるよう県が認定したものです。

脳卒中、またはその疑いがある場合は、ぜひ当院をお尋ねください。



宮崎病院が 「日本脳卒中学会 認定研修教育病院」 に認定されました。

宮崎病院は、この度、日本脳卒中学会認定研修教育病院として日本脳卒中学会より認定されました。

「日本脳卒中学会研修教育病院」とは、脳卒中専門医を目指す医師が研修するにふさわしい施設を日本脳卒中学会が認定するものです。施設の設定、医師の専門性、症例の種類や数、治療成績などから総合的に評価され、認定されます。手術内容は、開頭手術、定位脳外科手術、脳血管内手術、ガンマナイフ治療等にわたっています。脳卒中の超急性期には、血栓溶解療法、抗血小板療法、抗脳浮腫療法など様々な治療が行われます。なかでもt-PA療法は発症から3時間以内に開始することによって、著名な病状改善が期待されています。脳卒中は、一刻を争う病気です。脳卒中と思ったら、直ちに当院を受診してください。



NEW

FACE!

【ニューフェイス】

三校会グループに新たに加わった、先生のご紹介です。



宮崎病院 涌島 宏 先生 科目 / 放射線科

ひとこと

明るくて気持ちのよい病院という印象です。

他人に誇れる自慢話

医学部に入る前に10年ほど機械関係の会社に勤めました。自慢と言えるほどではありませんが、少し余分な知識と資格を持っています。

趣味は何ですか？

サッカーを観ること。70年代のジャズロックを聴くこと。最近余分な脂肪がついたので、ウォーキングを始めました。

特定医療法人

三傑会関連グループのご案内



宮崎病院

住所 / 〒854 0066 長崎県諫早市久山町1575番地 1

TEL : 0957 25 4800 FAX : 0957 26 7054

診療科目 : ・内科・呼吸器内科・消化器内科(内視鏡)・循環器内科
・腎臓内科(人工透析)・神経内科・外科・脳神経外科・形成外科
・美容外科・整形外科(ペインクリニック)・乳腺外科・麻酔科
・泌尿器科・リハビリテーション科・救急科・放射線科

関連施設 : ・人工透析センター・ガンマナイフセンター
・居宅介護支援事業所・通所リハビリテーションセンター
・訪問看護ステーション・訪問介護ステーション
・訪問リハビリテーション



宮崎診療所

住所 / 〒854 0067 長崎県諫早市久山台 9 - 10

TEL : 0957 25 2050 FAX : 0957 25 5170

診療科目 : ・脳神経外科・形成外科・整形外科(ペインクリニック)
・乳腺外科・泌尿器科・呼吸器内科・消化器内科(内視鏡)
・循環器内科・腎臓内科・リハビリテーション科

関連施設 : ・総合健診センター



公立新小浜病院(指定管理)

住所 / 〒854 0593 長崎県雲仙市小浜町南本町93番地

TEL : 0957 74 2211 FAX : 0957 75 0501

診療科目 : ・内科・神経内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科
・血液内科・精神科・外科・形成外科
・整形外科・脳神経外科・リハビリテーション科



公立介護老人保健施設 老健おばま(指定管理)

住所 / 〒854 0513 長崎県雲仙市小浜町南本町59番地

TEL : 0957 74 2711 FAX : 0957 74 2722

介護内容 : ・施設サービス
・短期入所療養介護(介護予防)サービス
・通所リハビリテーション(介護予防)サービス
・居宅介護支援サービス

<http://sankoukai.net>

特定医療法人 三傑会 理念

『心を込めて 患者様のために』

基本方針

【患者様のために】

医療に対する高い知識と技術の修得に努め 安全で信頼される最良の医療を提供します

【地域とともに】

高度の専門医療の提供と 地域医療機関との連携により 地域の人びとの健康と福祉の向上に貢献します

【職員としての自覚】

医療人としての品格を持ち 医療技術の向上と三傑会グループのさらなる発展に努めます